

A C C E S S

松代からの列車時刻表

(長野電鉄)	松代駅発 → 須坂駅着	21:51 (片道580円)	22:14
	須坂駅発 → 長野駅着	22:40 (片道520円)	23:08
(長野電鉄)	松代駅発 → 屋代駅着	22:11 (片道390円)	22:26
	屋代駅発 → 長野駅着	22:32 (片道330円)	22:51
しなの鉄道	屋代駅発 → 長野駅着	23:06 (片道330円)	23:25
	(最終)	23:33 (片道330円)	23:52

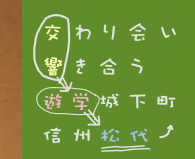
会場周辺のご案内

お車で越しの方は、松代城北駐車場及び城北グランド駐車場をご利用ください。



お問い合わせ 2010松代イヤー 実行委員会 TEL:026-278-3366

2010



松代イヤー

夜空を駆ける、魂の響き

平成22年

7月31日[土]

午後5時30分 開演

【会場】
松代城二の丸特設ステージ
(雨天時:松代中学校体育館)

【出演団体】

- 真田勝関太鼓
- 真田勝関太鼓 影武者
- 子供真田勝どき太鼓
- 御諏訪太鼓
- 信州上田真田陣太鼓
- 信濃国 松川響岳太鼓
- 信州辰野太鼓
- 太鼓打師 山本 麻琴
- 花鳥風月(創作舞踊)

入場無料

主催/2010松代イヤー実行委員会
共催/長野市、長野市教育委員会、(財)ながの観光コンベンションビューロー、長野商工会議所松代支部、信濃毎日新聞社
後援/NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、長野朝日放送、長野エフエム放送、INC長野ケーブルテレビ、週刊長野新聞社、長野市民新聞社
FMぜんごうじ、(財)日本太鼓連盟長野県支部、長野県太鼓連盟

松代城
築城450年

真夏の太鼓競演



1973年創刊
信濃毎日新聞社

■本社/長野市南興町657番地 TEL:026-8546
■松本市社/松本市宮田2番10号 TEL:026-8711
■東京・上田・諏訪・伊那・飯田・大飯・名古屋

鼓動、発信!

信州に根を張り、137年。
これからの地域の皆様とともに
響き合う鼓動を未来へと
つないでまいります。

http://www.shinmai.co.jp/

松代城
築城450年

真夏の太鼓競演

夜空を駆ける、魂の響き——。

プログラム

17:30
開演

子ども真田勝どき太鼓

真田勝鬨太鼓 影武者

1. 信州上田真田陣太鼓... 1. 出陣 2. 真田丸
2. 信州辰野太鼓 1. 弾 2. 綺羅
3. 太鼓打師 山本麻琴... 1. 阿修羅
4. 花鳥風月(創作舞踊)
5. 信濃国 松川響岳太鼓... 1. 化心 2. 迅雷の響
6. 御諏訪太鼓 1. 鼓神御柱太鼓 2. 諏訪雷
7. 真田勝鬨太鼓..... 1. 真田節 2. 勝鬨太鼓

出演団体紹介



信州上田真田陣太鼓

今から400年前、真田安房守昌幸とその次男信繁(幸村)父子が徳川の大軍を二度にわたって上田城で震えあがらせ、更に「大坂冬の陣・夏の陣」での戦いぶりは、徳川勢や諸国の武将にまでその名を知らしめ「真田は、日の本一の兵」とうたわれました。この真田一族の知略と武勇を陣太鼓にて表現します。

よって、わたしたちが握るバチは刀であり槍であります。そして轟かせる太鼓の響きは、数百年の歳月を超えた「真田魂の叫び」です。



信州辰野太鼓

信州辰野太鼓は、伊那谷の玄関口に位置する、ほとるで有名な辰野町にあります。私どもは、子供チームと大人チームで構成され、町のイベントや日本一と言われております、かやぶき屋根の「かやぶきの館」等で演奏活動しております。総勢45名程が在籍していますが、皆勤務の関係上、一か所に演奏活動が出来ないのが非常に残念ですが、宜しくお願い致します。



太鼓打師 山本麻琴

諏訪大社の太々神楽「御諏訪太鼓」の家元に生まれ、宗家小口大八、山本幹夫の両師に師事。国内外を巡演して育ち御諏訪太鼓子供会打頭・会長を歴任。日本太鼓塾塾長として学校指導、東京都公開講座の講師も務める。ソロでは10代より喜多郎らと共演してきた。またTAPダンサー等と舞台をつくる「和音響鳴」を昨年より行っている。



花鳥風月(創作舞踊)

日本の伝統芸能や祭りをモチーフに、クリエイティブな癒しの空間を作る舞踊グループ。日本の美しさ、豊かさを表現のテーマとし、和太鼓を使った踊りやクリスタルボウル、笙の演奏など多分野で活動している。

2005年スペイン、2006年シンガポール、2008年フランス、2009年ニューヨーク公演参加。岡谷太鼓まつり、天皇御在位20周年奉祝パレード、銀座柳まつりなど国際交流やボランティア活動にも積極的に参加している。



信濃国 松川響岳太鼓

1986年に北アルプスそして安曇野のシンボル「有明山」の麓「松川村」で、太鼓の音が「山の峰々まで響け」と願いをこめて「信濃国 松川響岳太鼓」と命名し、創作太鼓として県内外はもとより海外でも活動しています。



御諏訪太鼓

御諏訪太鼓は、諏訪大社の太々神楽・鼓舞楽を伝承する無形文化財で、川中島合戦では武田信玄により諏訪太鼓21人衆を編成し、将兵士気を鼓舞し有利な戦いを展開したと古文書に記されている民族芸能です。

昭和26年に現在の形に復元して以来、国内外のイベントに出演するほか、2007年の大河ドラマ「風林火山」出演は記憶に新しいところです。長い歴史に刻まれた強い感動と感銘をあたえる代表的な日本の太鼓です。



真田勝鬨太鼓

真田十萬石の城下町「松代」は、真田家の史跡をはじめ川中島合戦であいまみえた武田信玄の本陣「海津城」や上杉兼信の本陣「妻女山」など、いにしへの面影を残す町です。真田勝鬨太鼓は、その「松代」に伝わる郷土芸能として受け継がれ、勇壮な武者姿に身を包んだ面々が、戦に勝った喜びの太鼓を時には高く、時には低く力強く打ち鳴らします。また大祭「善光寺 御開帳」では、回向柱と共に必ず奉納太鼓として献上する慣わしとなっています。



子ども真田勝どき太鼓

20年前に発足した当太鼓は、真田勝鬨太鼓の海沼先生に指導を受け、地域の伝統芸能を伝えていくことと心身鍛錬を目的に活動しています。主軸は①だれにも負けない体をもつ、②不撓不屈の根性をもつ、③礼儀作法をもつ、④友愛・団結連帯感をもつ、⑤和太鼓の技術を習得する、の5つ。そして響き・余韻・とどろき(躍動感)をもつ太鼓を通じ、子供たちが伝統の郷土芸能により、グローバルな活動ができることを願っております。



真田勝鬨太鼓「影武者」

当太鼓は、1999年(平成11年)4月に「真田勝鬨太鼓」の名をいただき、松代町に発足しました。

現在のメンバーは、子供真田勝どき太鼓を終了した中高生7名で構成し、「真田勝鬨太鼓」の代表 海沼師匠の指導を仰ぎ、新しいジャンルの和太鼓競演を目指し日々の練習や合宿などに取り組んでいます。また、精力的に演奏活動もこなし、年間30回程各地で開催されるイベントに出演し、高い評価をいただいております。